

ものづくり支援センター但馬

開所記念講演に150人

事例紹介利用呼び掛け

但馬地域の中小製造業を支える「兵庫ものづくり支援センター但馬」(豊岡市九日市上町)の開所を記念する講演会が4日、同セン

ターが入る但馬技術大学校で開かれた。

但馬の企業関係者ら約150人が参加し、開所3カ月の利用状況や設備の使い方などを聞き、基調講演では、ものづくりを通じた地域活性化のあり方を学んだ。

同センターは今年4月に開所。県内では4カ所目で、技術コーディネーター2人が加工技術や品質管理の相談に応じるほか、緻密な金属加工ができる機械や電子顕微鏡なども使え



基調講演に聞き入る参加者たち―但馬技術大学校

る。

この日、同センターは3カ月間で20件の利用があったと報告。施設の機器を使い、強度試験やジャガイモの成分分析をしたことや、インターネット電話で神戸市の工業技術センターとつなぎ、相談に対応したことなどを紹介した。

基調講演では、京都府綾部市を拠点に国内外に事業を展開するねじ製造業「日東精工」の材木正己社長が登壇。「顧客満足度120%」などの経営戦略や、社会貢献活動について話した。

最後に奥田孝一センター長は「多くの企業にセンターを活用してほしい。急速に進む技術革新にも対応し、但馬のものづくりの発展を支えたい」とあいさつした。

(阿部江利)